

審議会等の会議の記録

会議の名称	令和4年度第1回子ども・子育て会議
開催日時	令和5年3月27日(月)午後2時00分から午後3時45分
開催場所	市役所東館3階 災害対策室
出席者氏名	<p>【委員】 五十嵐委員、佐々木委員、赤石委員、和佐田委員、丸橋委員、久保田委員、柳澤委員、町田委員、菊入委員、佐野委員、中西委員、森村委員、荻原委員、眞下委員、徳井委員</p> <p>【市職員出席者】 田部井福祉こども部長、長沼福祉こども部副部長、井田子育て支援課長、築瀬課長補佐、小此木所長補佐、新井課長補佐、高村課長補佐、冬木課長補佐、高橋係長代理、高橋主査</p>
傍聴人数	0人(公開)
会議の議題	<p>(1) 概要 ①子ども・子育て会議の概要について ②子ども・子育て支援事業計画について</p> <p>(2) 協議事項 ①特定教育・保育施設の利用定員の設定について</p> <p>(3) 報告事項 ①第2期子ども・子育て支援事業計画の実績について ②子ども・子育て支援事業計画答申付帯意見等について ③子ども・子育て支援事業計画の策定に向けた今後の予定について</p> <p>(4) その他</p>
会議資料の内容	<p>資料1 子ども・子育て会議の概要 資料2 子ども・子育て支援事業計画について 資料3 特定教育・保育施設の利用定員の設定について 資料4 第2期子ども・子育て支援事業計画(地域子ども・子育て支援事業等)の実績 資料5-1 【参考】伊勢崎市子ども・子育て支援事業計画策定について(答申) 資料5-2 5歳児健康診査について</p>

	<p>資料5-3 小児救急医療の充実について</p> <p>資料5-4 【参考】令和5年度伊勢崎市立幼稚園入園希望者状況</p> <p>資料6 子ども・子育て支援事業計画策定に向けた今後の予定について</p> <p>その他資料 事前質問一覧</p>
<p>会議における議事の経過及び発言の要旨</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大等を考慮し、会議当日の時間短縮を図るため、各委員に会議資料を事前送付し、事前に委員からの質問を受け付けた。</p> <p>なお、会議の経過は下記のとおり。</p> <p>≪1. 開 会≫ (事務局) 開会及び会議の出席者の報告</p> <p>≪2. 挨拶≫ (委員) 会長挨拶 (委員) 4年ぶりの対面での開催となったため、各委員の自己紹介を実施</p> <p>≪3. 議 事≫ (1) 概要 (事務局) 資料1及び資料2について説明</p> <p>(2) 協議事項 (事務局) 資料3について説明</p> <p>(会長) これで待機児童がいないということでよいか。</p> <p>(事務局) 令和5年4月1日の入園申し込みの段階では、待機児童はいない。</p> <p>(3) 報告事項 (事務局) 資料4から資料6までを説明及び資料に係る事前質問に対して回答</p> <p>(委員) 5歳児健康診査の課題について、保護者の心配の度合いや発達課題の捉え方により、スムーズに継続支援につながらない場合がある。また、支援を紹介しても、子どもが継続して通える支援機関の枠が不足しており、すぐに支援を受けられない場合があるとのことだが、これをどういう方策をとって対応していくのかを聞きたい。</p> <p>(事務局) 継続した支援などに対する枠が不足していることについては、支援機関の状況にもよるため、すぐに拡大すること等が難しい場</p>

合もある。

5歳児健診では事後事業として保健センターでは心理士による発達相談や専門職による個別教室等を行っており、通級指導教室に移行していただくまでの間、それらを利用していただきながら、相談を続けていくという対応をとっていく。

(委員)

5歳児健診の結果を受け発達相談室を紹介されたが、年長児でいっぱい受けられないという話も聞いている。小学校にあがったときに困らないようにすることが、5歳児健診の意義でもあると思うので、枠の不足や支援員の不足等への対応を再度お願いしたい。

(会長)

支援員の増加予定はあるのか。

(事務局)

5歳児健診の実施部署及びその後の支援を実施する教育部門と連携を図って強化していきたいと考えている。

(委員)

子ども発達相談室は市内4か所の設置となっており、地域によって対応する場所が異なっている。

相談室を増やす等の方策がとれるよう検討をお願いしたい。

(委員)

ファミリーサポートセンターについて、実際どのように利用できるのか。聞いたことはあるが、使ったことはないなどの話をよく聞く。周知方法等はどうしているのか。

(事務局)

ファミリーサポートはこども保育課が窓口となっており、広報、HP、各保育所や幼稚園、市内の公共施設に周知用のチラシを配布している。

ファミリーサポートの概要は、3か月から12歳のお子さんがいる保護者が利用会員となり、その子供の一時預かりや小学校への送迎サービス等を実施しているもの。

利用にあたっては事前に登録が必要となり、1時間1人あたり平日700円、休日900円の利用料が発生する。

こども保育課で援助会員を紹介し、マッチングして利用することができる。

周知方法については、引き続き検討していく。

(委員)

利用料金等についても記載がないが、料金が発生してもいいから利用したいという声も多かった。

(委員)

伊勢崎市は良いサービスもあるが、周知が届いていないように感じる。ワクチンナビのように、子育てナビのようなもので子育て

支援サービスがすぐ検索できる機能等があると周知にはいいのではないかと思う。

保育所の入所申し込みや、HPでも子育てのバナーなどを設ける等していただくことが今の子育て世代の周知へは効果的ではないかと思う。

(委員)

ワクチンナビについて、4カ月の赤ちゃん支援の際に配布する子ども・子育て支援ノートブックにも記載されているが、知らない保護者も多く、改めて紹介することもある。健康推進員としても健康管理センターと連携しながらうまく周知できればと思っている。

(4) その他

(事務局) 議事に直接関係のない事前質問に対して回答

(事務局) 資料5-2について、子ども・子育て支援事業計画の答申付帯意見として、発達障害などの早期発見につながるよう、3歳から就学前の間の健康診査について研究検討を続けた結果、平成29年度からモデル事業として開始し、現在、5歳児健康診査については、令和元年度から全園実施の事業として取り組み、今年度4年目となること、今後も事業は継続することから、答申意見についての報告を終了してよいか提案。

(会長)

もう少し詳しく教えてもらえるか。

(事務局)

5歳児健診については、当時の答申付帯意見をいただいてから、モデル事業として実施、その後、全園の実施となり、現在では体制も整い、事業も継続をしていくことから、今後質問等があれば、健康管理センターに問い合わせさせていただき対応とし、この会議においての報告は終了とさせていただきます。

(会長)

5歳児健診は事業体制が整い、軌道に乗ったという判断で、この会議での報告は終了するというところでよろしいか。

(事務局)

はい。

(委員)

先ほども話のあった、5歳児健康診査の結果を踏まえた、その後の支援方策については、引き続き報告していただきたい。

(委員)

ショートステイ、トワイライトステイの実施は、市内の施設ではないのか。

(事務局)

前橋市内にある鐘の鳴る丘少年の家と地行園、また、太田市内にある、東光虹の家及び東光乳児院において実施をしている。

(委員)

事前質問の幼保認可小の連携について、私立園においては、地域の学校に相談してくださいとなっている。

研究会や情報交換会を職員間での連携はあることは分かったが、私立園に通園している子どもの連携はどうするのか。

近年はコロナの影響により、できなかったこともわかるが、伊勢崎市教育振興基本計画や就学前の教育・保育の在り方に関する基本方針にも、施設や小学校のこどもたちの交流と書かれている。こどもたちの交流をどうするのかというところが大事だと思う。

国の連携事例集にも連携にあたり、地方公共団体の支援というのがある。通園区域の広い保育園や幼稚園は在園の就学先が多数の小学校となることがあるため、複数の小学校が連携を図る必要があるが、それには、地域の学校だけではなく、自治体の支援が必要になる。その地域の小学校に相談してくださいということではなく、伊勢崎市として回答をいただきたい。

また公立・私立の別ではなく、すべての子どもたちに平等に機会を与えていただきたい。

職員同士の連携だけでなく、子どもたちの交流の機会や小学校に上がる子どもたちが不安なく就学できるような体制を作ることをお願いしたい。

(会長)

今後、本会議でも検討していきたい。

(委員)

小学校の先生と幼稚園の先生で、子どもに対する温度差があるように思う。その温度差によって、幼稚園は楽しく通えていても、小学校に通えなくなるということもある。みんなが楽しく小学校に通えるように、そういった温度差を埋めるようにしていただきたい。

(会長)

先生方の交流や子どもたちの交流は両方とも必要なことだと思う。今後も貴重なご意見をいただきたい。

《 4. その他 》

8月に任期満了に伴う委員の改選がある。

関係団体への委員推薦依頼は6月頃に、公募委員については7月中に委員の募集を実施する予定である。

また、次回の子ども・子育て会議の開催は9月頃を予定している。

《 5. 閉会 》